

パッケージ区分	外科術後病棟管理領域	時間	119
研修概要	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 (A) 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（呼吸音、一回換気量、胸部の上り等）及び検査結果（経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）、レントゲン所見等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、適切な部位に位置するように、経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの深さの調整を行う。	
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 (A) 侵襲的陽圧換気の設定の変更	医師の指示の下、手順書により身体所見（人工呼吸器との同調、一回換気量、意識レベル等）及び検査結果（動脈血液ガス分析、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）等）が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し酸素濃度や換気様式、呼吸回数、一回換気量等の人工呼吸器の設定条件を変更する。	
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 (B) 非侵襲的陽圧換気の設定の変更	医師の指示の下、手順書により、身体所見（呼吸状態、気道の分泌物の量、努力呼吸の有無、意識レベル等）及び検査結果（動脈血液ガス分析、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）の設定条件を変更する。	
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 (A) 気管カニューレの交換	医師の指示の下、手順書により、気管カニューレの状態（カニューレ内の分泌物の貯留、内腔の狭窄の有無等）、身体所見（呼吸状態等）及び検査結果（経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、留置されている気管カニューレの交換を行う。	
	胸腔ドレーン管理関連 (A) 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	医師の指示の下、手順書により、身体所見（呼吸状態、エアリークの有無、排液の性状や量等）及び検査結果（レントゲン所見等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、吸引圧の設定及び及びその変更を行う。	
	胸腔ドレーン管理関連 (B) 胸腔ドレーンの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（呼吸状態、エアリークの有無、排液の性状や量、挿入部の状態等）及び検査結果（レントゲン所見等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、手術後の出血の確認や体液等の貯留を予防するために挿入されているドレーンを、患者の呼吸を誘導しながら抜去する。抜去部は、縫合又は結紮閉鎖する。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。	
	腹腔ドレーン管理関連 (A) 腹腔ドレーンの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（排液の性状や量、腹痛の程度、挿入部の状態等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、腹腔内に挿入・留置されているドレーン又は穿刺針を抜去する。抜去部は、縫合、結紮閉鎖又は閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。	
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 (A) 中心静脈カテーテルの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（発熱の有無、食事摂取量等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、中心静脈内に挿入されているカテーテルを引き抜き、止血するとともに、全長が抜去されたことを確認する。抜去部は、縫合、結紮閉鎖又は閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。	
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 (A) 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	医師の指示の下、手順書により、身体所見（末梢血管の状態に基づく末梢静脈点滴実施の困難さ、食事摂取量等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、超音波において穿刺静脈を選択し、経皮的に肘静脈又は、上腕静脈を穿刺し、末梢留置型中心静脈注射用カテーテル（PICC）を挿入する。	
	創部ドレーン管理関連 (A) 創部ドレーンの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（排液の性状や量、挿入部の状態、発熱の有無等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、創部に挿入・留置されている状況又は患者の状態が長期にわたって管理され、安定している状況において、創部へ挿入・留置されているドレーンを抜去する。抜去部は、開放または閉塞性ドレッシング剤の貼布を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。	
	動脈血液ガス分析関連 (A) 直接動脈穿刺法による採血	医師の指示の下、手順書により、身体所見（呼吸状態、努力呼吸の有無等）及び検査結果（経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、経皮的に橈骨動脈、上腕動脈、大腿動脈等を穿刺し、動脈血を採取した後、針を抜き圧迫止血を行う。	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連 (A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、栄養状態等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う。	
	術後疼痛管理関連 (A) 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（疼とう痛の程度、嘔気や呼吸困難感の有無、血圧等）、術後経過（安静度の拡大等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、硬膜外カテーテルからの鎮痛剤の投与及び投与量の調整を行う（患者自己調節鎮痛法（PCA）を除く）。	
	循環動態に係る薬剤投与に関連 (A) 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（動悸の有無、尿量、血圧等）、血行動態及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、持続点滴中のカテコラミン（注射薬）の投与量の調整を行う。	
循環動態に係る薬剤投与に関連 (D) 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、栄養状態、尿量、水分摂取量、不感蒸泄等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、外科術後病棟管理領域の特定行為ができるようになる。 2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。 3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。 4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。 		

評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト	
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習	
	OSCE：評価表（mini-CEX）を用いた観察評価	
	試験：eラーニング上もしくは集合で実施	
研修内訳	講義（110時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分
	演習（9時間）	視聴時間（イントロ）5分＋グループワーク45分＋視聴時間（解説）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う
	OSCE（4時間）	OSCEはシラバスの時間に含めておりませんが、教材としてご利用ください
	試験（任意）	試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	番号
呼吸器(気道確保に係るもの)関連 (共通)呼吸器 (気道確保に係るもの)関連の基礎知識	気道確保に関する局所解剖、経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整に関する病態生理	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	1-1
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整に関するフィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	1-2
	経口又は経鼻気管挿管の目的、適応と禁忌、経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの種類と適応	近藤 夏樹	亀田総合病院 集中治療科	講義	1-3
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブによる呼吸管理、バックバルブマスク（BVM）を用いた用手換気	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	1-4
呼吸器(気道確保に係るもの)関連 (A) 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整の目的	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	1-5
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整の適応と禁忌	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	1-6
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整に伴うリスク（有害事象とその対策等）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	1-7
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整の手法（1）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	1-8
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整の手法（2）	山口 重樹	獨協医科大学医学部 麻酔科学講座教授	講義	1-9
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 (共通)呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	人工呼吸療法の目的、適応、禁忌	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	2-1
	人工呼吸療法に関する局所解剖、人工呼吸療法を要する主要疾患のフィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	2-2
	人工呼吸療法を要する主要疾患の病態生理	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	2-3
	人工呼吸器管理の適応と禁忌	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	2-4
	人工呼吸器のメカニズム（構造と種類）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	2-5
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 (A) 侵襲的陽圧換気の設定の変更	侵襲的陽圧換気の設定の目的、選択と適応	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	2-6
	侵襲的陽圧換気の設定条件の変更の適応と禁忌	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	2-7
	侵襲的陽圧換気の設定条件の変更に伴うリスク（有害事象とその対策等）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	2-8
	侵襲的陽圧換気の設定条件の変更方法	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	2-9
	侵襲的陽圧換気の設定の変更（ペーパーベシエント）（1）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	演習	2-10
	侵襲的陽圧換気の設定の変更（ペーパーベシエント）（2）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	演習	2-11
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 (B) 非侵襲的陽圧換気の設定の変更	非侵襲的陽圧換気の設定の目的、設定条件の選択	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	2-12
	非侵襲的陽圧換気の設定の適応と禁忌	近藤 夏樹	亀田総合病院 集中治療科	講義	2-13
	非侵襲的陽圧換気の設定条件の変更に伴うリスク（有害事象とその対策等）	近藤 夏樹	亀田総合病院 集中治療科	講義	2-14
	非侵襲的陽圧換気の設定条件の変更方法	近藤 夏樹	亀田総合病院 集中治療科	講義	2-15
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更（ペーパーベシエント）（1）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	演習	2-16
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更（ペーパーベシエント）（2）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	演習	2-17

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連 （共通）呼吸器 （長期呼吸療法に係るもの）関連の 基礎知識	気管切開の目的と局所解剖、適応と禁忌	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-1
	気管切開を要する主要疾患のフィジカルアセスメント、気管切開に伴うリスク（有害事象とその対策等）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-2
	気管切開を要する主要疾患の病態生理（1）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-3
	気管切開を要する主要疾患の病態生理（2）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-4
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連 （A）気管カニューレの交換	気管カニューレの適応と禁忌、気管カニューレの構造と選択	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-5
	気管カニューレの交換の困難例の種類とその対応	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3-6
	気管カニューレの交換の手技（1）	田村 学	おおさか往診クリニック理事長	講義	3-7
	気管カニューレの交換の手技（2）	宮下 徳久	兵庫県立こども病院 小児集中治療科	講義	3-8
胸腔ドレーン管理 関連 （共通）胸腔ドレーン管理関連の 基礎知識	胸腔ドレナージに関する局所解剖	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	6-1
	胸腔ドレナージを要する主要疾患の病態生理	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	6-2
	胸腔ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	6-3
	胸腔ドレナージの目的、適応と禁忌	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	6-4
	胸腔ドレナージに伴うリスク（有害事象とその対策等）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	6-5
胸腔ドレーン管理 関連 （A）低圧胸腔内持続吸引器の吸引 圧の設定及びその 変更	低圧胸腔内持続吸引の適応と禁忌	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	6-6
	低圧胸腔内持続吸引に伴うリスク（有害事象とその対策等）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	6-7
	低圧胸腔内持続吸引器のメカニズムと構造	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	講義	6-8
	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更方法（ペーパーベイスメント）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院救命救急センター	演習	6-9
胸腔ドレーン管理 関連 （B）胸腔ドレーンの 抜去	胸腔ドレーンの抜去の適応と禁忌	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	6-10
	胸腔ドレーンの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	6-11
	胸腔ドレーンの抜去の方法と手技（1）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	6-12
	胸腔ドレーンの抜去の方法と手技（2）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	6-13
腹腔ドレーン管理 関連 （共通）腹腔ドレーン管理関連の 基礎知識	腹腔ドレナージに関する局所解剖、主要疾患のフィジカルアセスメント	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	7-1
	腹腔ドレナージを要する主要疾患の病態生理（1）	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	7-2
	腹腔ドレナージを要する主要疾患の病態生理（2）	平井 優	藤崎市立病院外科	講義	7-3
	腹腔ドレナージの目的、適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	平井 優	藤崎市立病院外科	講義	7-4
腹腔ドレーン管理 関連 （A）腹腔ドレーンの 抜去	腹腔ドレーンの抜去の適応と禁忌	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	7-5
	腹腔ドレーンの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	7-6
	腹腔ドレーンの抜去の方法と手技（1）	平井 優	藤崎市立病院外科	講義	7-7
	腹腔ドレーンの抜去の方法と手技（2）	平井 優	藤崎市立病院外科	講義	7-8

栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 （共通）中心静脈カテーテル管理の基礎知識	中心静脈カテーテルに関する局所解剖 中心静脈カテーテルを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的（1）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-1
	中心静脈カテーテルを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的（2）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-2
	中心静脈カテーテルの適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-3
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 （A）中心静脈カテーテルの抜去	中心静脈カテーテルの抜去の適応と禁忌	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-4
	中心静脈カテーテルの抜去到伴うリスク（有害事象とその対策等）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-5
	中心静脈カテーテルの抜去の方法と手技（1）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-6
	中心静脈カテーテルの抜去の方法と手技（2）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-7
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 （共通）末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の基礎知識	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルに関する局所解剖 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的（1）	井上 善文	大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来医工学共同研究部門	講義	10-1
	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的（2）	井上 善文	大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来医工学共同研究部門	講義	10-2
	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	井上 善文	大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来医工学共同研究部門	講義	10-3
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 （A）末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入の適応と禁忌	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	10-4
	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入に伴うリスク（有害事象とその対策等）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	10-5
	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技（1）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	10-6
	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技（2）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	10-7
	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入方法と手技（3）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	10-8
創部ドレーン管理 関連 （共通）創部ドレーン管理関連の基礎知識	創部ドレーンに関する局所解剖、適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	12-1
	創部ドレーンを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的	川口 晃	長浜赤十字病院 救急部	講義	12-2
創部ドレーン管理 関連 （A）創部ドレーンの抜去	創部ドレーンの抜去の適応と禁忌	須原 貴志	下呂市立金山病院 院長 外科	講義	12-3
	創部ドレーンの抜去到伴うリスク（有害事象とその対策等）	豊田 泉	岐阜県総合医療センター救命救急センター	講義	12-4
	創部ドレーンの抜去の方法と手技	須原 貴志	下呂市立金山病院 院長 外科	講義	12-5
動脈血液ガス分析 関連 （共通）動脈血液ガス分析関連の基礎知識	動脈穿刺法に関する局所解剖、フィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-1
	超音波検査による動脈と静脈の見分け方	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-2
	動脈血採取が必要となる検査	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-3
	動脈血液ガス分析が必要となる主要疾患とその病態（1）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	13-4
	動脈血液ガス分析が必要となる主要疾患とその病態（2）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	13-5

動脈血液ガス分析 関連 (A) 直接動脈穿 刺法による採血	直接動脈穿刺法による採血の目的、適応と禁忌	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	13-6
	穿刺部位と穿刺に伴うリスク（有害事象とその対策等）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	13-7
	患者に適した穿刺部位の選択	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	13-8
	直接動脈穿刺法による採血の手技	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院副院長	講義	13-9
栄養及び水分管理 に係る薬剤投与関 連 (共通) 栄養及び 水分管理に係る薬 剤投与関連の基礎 知識	循環動態に関する局所解剖	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-1
	循環動態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-2
	脱水や低栄養状態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-3
	輸液療法の目的と種類、病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-4
	輸液時に必要な検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-5
	輸液療法の計画	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-6
栄養及び水分管理 に係る薬剤投与関 連 (A) 持続点滴中 の高カロリー輸液 の投与量の調整	低栄養状態に関する局所解剖、低栄養状態の原因と病態生理	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授	講義	15-7
	低栄養状態に関するフィジカルアセスメント、低栄養状態の判断、検査	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授	講義	15-8
	高カロリー輸液の適応と使用方法、高カロリー輸液に関する栄養学、高カロリー輸液のリスク（有害事象とその対策等）	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授	講義	15-9
	高カロリー輸液の種類と臨床薬理、高カロリー輸液の副作用と評価	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授	講義	15-10
	<選択式>高カロリー輸液の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授	演習	15-11A
	<選択式>高カロリー輸液の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）	森田 圭一	兵庫県立こども病院 小児外科		15-11B
術後疼痛管理関連 (共通) 術後疼痛 管理の基礎知識	硬膜外麻酔の目的、適応と禁忌、局所解剖、主要疾患の病態生理	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-1
	硬膜外麻酔に伴うリスク（有害事象とその対策等）（1）	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-2
	硬膜外麻酔に伴うリスク（有害事象とその対策等）（2）	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-3
	硬膜外麻酔を要する主要疾患のフィジカルアセスメント	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-4
術後疼痛管理関連 (A) 硬膜外カ テーターによる鎮 痛剤の投与及び投 与量の調整	硬膜外麻酔薬の選択と投与量（1）	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-5
	硬膜外麻酔薬の選択と投与量（2）	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-6
	硬膜外カテーターによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整の方法	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	講義	18-7
	ペーパーシミュレーション（硬膜外カテーターによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整）	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長／日本麻酔科学会指導医	演習	18-8

循環動態に係る薬剤投与関連 (共通) 循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	循環動態に関する局所解剖	石黒 晴久	医療法人広正会 井上病院 理事長・循環器内科医師	講義	19-1
	循環動態に関する主要症候	弦切 純也	東京医科大学病院八王子医療センター救命救急部	講義	19-2
	循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患の病態生理	弦切 純也	東京医科大学病院八王子医療センター救命救急部	講義	19-3
	循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患のフィジカルアセスメント	弦切 純也	東京医科大学病院八王子医療センター救命救急部	講義	19-4
	輸液療法の目的と種類	廣瀬 剛	東京医科大学八王子医療センター 腎臓内科	講義	19-5
	病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	廣瀬 剛	東京医科大学八王子医療センター 腎臓内科	講義	19-6
	輸液時に必要な検査	廣瀬 剛	東京医科大学八王子医療センター 腎臓内科	講義	19-7
	輸液療法の計画	廣瀬 剛	東京医科大学八王子医療センター 腎臓内科	講義	19-8
循環動態に係る薬剤投与関連 (A) 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	カテコラミン製剤の種類と臨床薬理	大島 一太	大島医院 院長/東京医科大学八王子医療センター循環器内科 兼任講師/日本看護協会看護研修学校 非常勤講師	講義	19-9
	各種カテコラミン製剤の適応と使用方法	大島 一太	大島医院 院長/東京医科大学八王子医療センター循環器内科 兼任講師/日本看護協会看護研修学校 非常勤講師	講義	19-10
	各種カテコラミン製剤の副作用、持続点滴中のカテコラミン投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)	大島 一太	大島医院 院長/東京医科大学八王子医療センター循環器内科 兼任講師/日本看護協会看護研修学校 非常勤講師	講義	19-11
	病態に応じたカテコラミンの投与量の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)	大島 一太	大島医院 院長/東京医科大学八王子医療センター循環器内科 兼任講師/日本看護協会看護研修学校 非常勤講師	演習	19-12
循環動態に係る薬剤投与関連 (D) 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	糖質輸液、電解質輸液の種類と臨床薬理、適応と使用方法	小島 糾	東京医科大学八王子医療センター腎臓内科/八王子山王病院	講義	19-21
	各種糖質輸液、電解質輸液の副作用	小島 糾	東京医科大学八王子医療センター腎臓内科/八王子山王病院	講義	19-22
	持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)	小島 糾	東京医科大学八王子医療センター腎臓内科/八王子山王病院	講義	19-23
	病態に応じた糖質輸液、電解質輸液の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)	小島 糾	東京医科大学八王子医療センター腎臓内科/八王子山王病院	演習	19-24
呼吸器 (気道) (A)	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	OSCE	-
呼吸器 (長期) (A)	気管カニューレの交換	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	OSCE	-
栄養 (PICC) (A)	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	OSCE	-
血ガス分析 (A)	直接動脈穿刺法による採血の手技	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	OSCE	-
外科術後病棟管理領域 修了試験				試験	-